

作成日：2022 年 9 月 20 日

## 研究協力のお願

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

リバース型人工肩関節全置換術患者の術前の三角筋体積と術後の可動域の関係性について

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2015年4月1日から2021年3月31日までに昭和大学藤が丘病院でリバース型人工肩関節全置換術(RTSA)を行った患者さんの中から、術前にCTでの肩関節機能評価を行い、Synapse Vincentにて画像抽出が可能である患者さんを対象としています。

### 2. 研究目的・方法

本研究の目的はRTSA患者さんの術前の三角筋体積をCTおよび画像解析ソフト(Synapse Vincent)を用いて測定し、術後の運動機能と関係があるかどうかを調査することです。

患者さんのデータはリハビリテーションセンター内にて「3. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を取得致します。

### 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから2023年7月1日までです。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

術前CTとSynapse Vincentにて三角筋体積の画像抽出が可能である患者さんを対象としました。調査項目は患者の三角筋体積、術前術後の可動域、患者背景因子(性別、年齢、診断名、機種)および臨床アウトカムスコアとしました。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター

氏名：井上駿也

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 2-1-1      電話番号：045-974-2221(代表)

研究責任者：井上駿也